

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成24年3月7日（水） 19:00～20:30

ところ：墨俣地域事務所

団 体：墨俣地域まちづくり協議会 18名

【団体】

一昨年から2年間、コミュニティ研究会でまちづくりの方向性を勉強し、平成23年8月に墨俣地域まちづくり協議会を発足しました。4つの基本理念をたて、1つ目は文化ふれあい、創造活力のあるまちづくり。2つ目は快適な生活環境で未来に夢を描けるまちづくり。3つ目はふれあい、ぬくもり、支えあうまちづくり。



4つ目は安全安心のまちづくり。という4つの基本理念より墨俣の将来像を見据え、豊かな自然文化の町を目指します。墨俣には25の活動団体がありますが、活発に活動を支援できるようにこのまちづくり協議会が発足しました。まちづくりには、1つのことを協議しあえるシステムづくりが必要です。また、システム作りのプロセスも大事で、それが地域の力ひいては子孫に続いて行くと思います。

【団体】

下水道が来年の3月に供用開始になり、ありがたいです。1つ心配していることは、震災が起きて揖斐川の橋が落ちた場合は旧大垣市内と遮断されるため、不安に思っています。そのようなことも想定して防災計画を立ててほしいです。また、出世祭やさくら祭や天王祭などの補助金の予算を削減することのないようお願いします。

【団体】

大垣は福祉が充実していて、67歳から医療費が1割負担で助かっています。来年度からは高校生の医療費無料というお話も聞きました。また人口減少の話ですが、墨俣町二ツ木は市街化区域のため分譲住宅やマンションが建ち若い世



代も多く、人口の減少はないですが、私の住んでいる地域は調整区域のため人口の減少が進んでいます。市街化区域も5年ごとに見直しと聞いていますが、私の住んでいる地域も市街化区域にさせていただくとありがたいです。墨俣は、JR東海道線の穂積駅に近く、新幹線の岐阜羽島駅にも近く、名神高速道路のインターにも近いので交通の便が良いと

ころです。

【団体】

大型店ができたため小売店が影響を受け廃業するところが増え、商工会の会員が減っていくため困っています。合併により商工会への補助金も徐々に減っています。墨俣商工会は会費だけでは運営できず、7~8割が補助金に頼っています。そのため、補助金のカットをしないようお願いしたいです。今、犀川排水機の工事を行っていますが、川の流れを止めて工事しているため豪雨があった場合とても危険だと思いますので、工事の早期完成について国へ強く働きかけてほしい。

【市長】

揖斐川の橋など老朽化しているため補強する必要があります。ただ、東海環状自動車道のように新しく作る場合は、皆さんに喜ばれますが、改修の場合はなかなか喜んでもらえないようです。小中学校の耐震化も150億円かけて直していますが、目立たないしあまり喜んでもらえません。ただ、実際の震災が起こったときの対策は考えておかないといけません。万が一、市役所が倒壊した場合は情報工房を災害対策本部にする予定です。大垣の場合津波の心配は大丈夫ですが、原発の影響は70km内のため対策を考えています。そのため、市民病院に甲状腺ガンの医薬品整備を行いました。また、防災協定も新たに東京都荒川区、鹿児島市、春日井市と結びました。先ほどの地域の行事は尊重しないといけませんので補助金も大事ですね。また、福祉は岐阜県内では大垣が一番と言われています。産業の力で市の財政力が強いからです。大垣市の人口が減っていますが、産業が発展しているため夜間の人口より昼間の人口のほうが多いです。また、市街化区域の話ですが、人口が減少すると市街化区域も少なくなります。墨俣の人口が増えれば市街化区域も増えますね。ただ、まちづくりの観点からみると、あまり市街化区域を増やすことはよくないと思います。田園

地帯は、田園地帯で残しておかないと美しいまちづくりにはなりません。先ほどの大規模商店のお話ですが、旧大垣市内に大型店舗ができたため、大垣の商業販売額は増えています。大型店舗ができ小売店が打撃をうけるという話は、墨俣だけではなく大垣の中心市街地も同じですし、また全国的な問題です。ヨーロッパのように計画的にできるといいのですが。

【団体】

墨俣の文化団体も大垣市の行事に参加できるよう、いろいろな情報を流してほしいです。また、墨俣も若い人が参加できるように考えていきたいです。

【団体】

合併後、犀川の堤防にあじさいを植えていただきました。墨俣の桜は昭和4年頃に植えられているようです。あじさいも何十年とたてば桜のような存在になり墨俣の有名な花になるかもしれません。行政もPRに力を入れていただきたいです。

【団体】

民生児童委員協議会です。活動するために情報が必要ですが、最近ではなにかと個人情報保護と言われ困ることがあります。また、墨俣縦貫道の街路樹の管理についてですが、樹木剪定の時期を考えていただきたいです。例えば、出世祭の前に綺麗にさせていただくと嬉しいです。また、道路が交差するところの樹木は低木にして見通しをよくしてほしいです。その他、古い市営住宅の整備をお願いします。

【団体】

食生活改善です。今困っていることは、新しい人が増えないということです。来年度から男性も入ることができるようになったため、会員が増えるといいと期待しています。

【市長】

文化祭では、やはり若い人の参加は少ないです。退職された団塊の世代の方は文化活動に関心が高く前向きに活動していただけるので、その方達を中心に行っていくとよいのかもしれません。飛び地合併でのいい点は、それぞれの地域の文化個性が尊重される場所ではないでしょうか。また、個人情報保護法ができて、ガードが固くなりいろいろとやりにくくなったのは事実ですね。市営住宅も順次修繕していかなければなりません。食改は集まりいいですね。趣

味と実益を兼ねているいい団体だと思います。

【団体】

地域コミュニティ調査研究での会議や都市景観まちづくりのワークショップでは、墨俣のいいところを再発見でき、とてもよい機会になりました。観光の街として、また住みよい街にするために、自分達で動かなければいけないと思います。ただし、経済的な面では行政の支援をいただきたいのでよろしくお願い致します。また、墨俣の地域事務所や教育事務所はいつも相談にのってもらったりしてありがたい存在ですので、ぜひ無くさないようよろしくお願い致します。

【団体】

あじさいコンサートの補助金は、来年度 3 万円しかでないと言われました。審査基準を知りたいのと審査される人はちゃんと事業を見に来ていただいているのか知りたいです。予算を持続する努力をお願いしたいです。

【団体】

つりびな小町めぐりを行っている最中ですが、他の都市からも来ていただいてありがたく思っています。利用させてもらっている建物がとても古く、大垣市の景観遺産になっていますので、補修をよろしくお願いします。

【団体】

古いものが景観遺産になっているのはいいですが、補修しないと難しいです。また、最近では古い歴史を大切にしない人が増えています。小学校からふるさと教育をしていただきたいです。また、墨俣が昔にぎやかだった頃の町が現在は犀川になっていて消えてしまっています。記念碑や町の再現をしていただいで忘れないようにしてもらいたいです。

【市長】

船町や赤坂町、墨俣町以外の大垣の町並みは戦争によって焼けてしまいました。全ての町並みを再現することはできません。ただ、歴史も大切ですのでスポット的に再現することは可能なため徐々に考えていきたいです。



また、ふるさと教育ですが、小中学校が週 5 日制になり授業時間が減っているため難しいかもしれませんが、大切なことだと思います。

【団体】

子宮頸ガンのワクチン接種の補助はとてもありがたいですが、どの程度市民に周知されているのか疑問です。ワクチン接種の補助が始まる時には、市のPRがありますが、その後のフォローがあまりありません。市のさまざまな事業についての広報の方法について、工夫してほしいと思います。

【団体】

女性防火クラブですが、最近では旧大垣市内でも女性防火クラブが消滅したという話を聞きます。いざ災害が起きたとき必要だと思います。また、すべての女性防火クラブの任期を2年にしてほしいです。1年交代では何も覚えることができません。

【団体】

墨俣は、児童館や保育園が一つの敷地にあり、とても子育てに優しい町だと思います。また、飛び地であるため出来る限り保育園の子ども達も上石津や三城などの保育園の子ども達と交流するようにしています。1つお願いですが、園児を連れて町内に出かけますが、墨俣の公園にはトイレがなかなか併設されていないため、不便なことがありますので設置してほしい。

【団体】

市の学校夢づくり事業補助金で今年は体操の先生を呼ぶことができ、本当にありがとうございました。なかなか学校だけの予算では限られているため、今後も支援していただけるとありがたいです。また、子ども達が文化芸術にふれるのは意図的に計画しないとなかなか実行できません。今度完成する奥の細道むすびの地記念館のような施設を作っていただけるのは大変ありがたいです。

【団体】

今年度は、市長さんに学生の作ったお弁当を食べていただき、またファッションショーにも来ていただきありがとうございます。震災が起きたため学校のほうでも心配し、市の生活安全課に確認したところ、揖斐川の橋が落ちて生徒が学校から帰れない場合、3日間は学校でなんとかしてほしいと言われました。そのため、3日分の食糧、水、レスキューシートを生徒分、また簡易トイレを用意しました。実際の災害が起こる前にどのような体制をとったらいいか、いろ



いろな機関と提携して進めていきたいです。

【団体】

最近子どもが少ないが、競技種目が多いため、スポーツ少年団の団員が集まらないのが現状です。また、外で遊ぶ場所も少なくなり、子ども達の運動能力も昔に比べて低下しています。

【市長】

確かにワクチンの利用率は半分ぐらいです。導入するときは新聞や広報などで取り上げますが、継続して行っているとPRはなかなかできないのが現状です。今回、市の事業などが掲載しているものを市民の便利帳として、電話帳と一緒に各世帯に配布することになりました。また、女性防火クラブだけでなく、消防団も大垣市中心部はなかなか団員が集まりません。墨俣の児童館や子育て支援センターは立派ですね。各地区に児童館を作りたいのですが難しいため、地区センターの中に併設する形で作れるといいと思います。学校は避難所としての体制を整えていかなければいけません。学生の3日分の食糧等を用意していただい、とても驚きました。スポーツ少年団も加入率は減っていますね。子どもも最近はゲームばかりで、外で遊んでいる姿を見かけません。

【団体】

奥の細道むすび記念館は大きな観光資源となりますので、その観光資源のネットワークを結ぶような施策を考えていただけるとありがたいです。

【市長】

皆さんからのご意見をたくさんいただきましたので、今後の参考にさせていただきます。墨俣には、旧大垣市にはないものがあり、また飛び地合併により文化個性が尊重できるのではないのでしょうか。大垣市の東の玄関口として墨俣町のまちづくりを進めていきたい。また、災害が起きて橋が落ちることも想定して防災計画の再認識が必要だと思いました。住みよいまちづくりを進めていくため、皆さんのご支援ご協力をお願いしたいです。本日はありがとうございました。